甲南医療センター

# 乳腺外科

## 指導担当医（役職）

高尾　信太郎（院長代行、副院長）

## 実習概要

### 実習コース

2週間コース・４週間コースどちらも可

### 概要

当科では乳癌患者さんの治療を中心に、広く乳腺疾患全般の診療を行っています。

乳癌検診（二次精査）では、乳癌検診の流れ、視触診の方法、マンモグラフィ読影、患者指導について学習します。

比較的頻度の多い乳腺疾患（女性化乳房症、乳腺炎、乳腺症等）、乳腺良性腫瘍（線維腺腫、嚢胞等）について、診断、治療法を学習します。

乳癌患者さんの場合、初診から確定診断、手術、病理診断、術後治療方針決定まで2ヵ月位を要しています。一症例で全体の流れを見るのは4週間では短いため、実習期間の中で、主治医団の一員として、できるだけ多くの症例を受け持ち、初診症例（確定診断までの流れ）、手術症例（周術期の流れ）、術後症例（最終病理から補助療決定までの流れ）を経験することで、乳癌診療の流れを通じて、乳腺外科を学んでいただきたいと思います.

また、再発乳癌患者さんの治療は主に外来で行っていますが、外来診療でのInformed consent(IC), shared decision making(SDM)の場面を体験し、SPIKESを使った正しい情報提供術を学ぶとともに、他科、他職種、院内外医療スタッフとのチーム医療についても学んでもらいます。

### 実習スケジュール

月・水・木は外来．火・金は手術.

月・水　外来が早く終われば、ファントムを使ってインターベンションの実習

金　午前　画像診断　ミニレクチャー＋読影実習

その他

超音波ガイド吸引補助下生検、乳管造影、遺伝外来の見学は随時対応します。

## カンファレンス（時間外は希望される場合のみで結構です）

・術前&症例カンファレンス（毎週月曜日8：00-8：30，乳腺外科外来診察室１）

・抄読会（毎週金曜日16：30-17：00，乳腺外科外来診察室１）

・乳腺外科・放射線科・病理診断科合同カンファレンス（術後カンファレンス）

（第4月曜日16：30-17：30，手術室カンファレンスルーム）

・HBOCカンファレンス（遺伝カンファレンス）

（第1木曜日16：30-17：00，手術室カンファレンスルーム）

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 回診 | 8:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 外来見学 | 午前<br>9:00 | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| | 午後<br>13:00 | ○(遺伝外来) | | ○ | ○ | |
| 検査 | 午前 | | | | | |
| 各主治医 | 午後 | 術前マーキング | | | 術前マーキング | |
| 手術見学 | 午前 | | ○ | | | |
| | 午後 | | ○ | | | ○ |
| その他 | | 8:00–8:30<br>術前カンファ<br><br>16:00–17:00<br>術後カンファ<br>（第１月） | | | 16:00–17:00<br>HBOCカンファ<br>（第４木） | 16:30–17:00<br>抄読会 |

# 学生へのメッセージ

乳腺外科は、乳腺という一臓器に特化した疾患を総合的に取り扱う、いわば『乳腺科』です。

乳房は女性にとって、授乳臓器という機能面でも、乳房という整容面でも非常に大事な部位であり、乳腺疾患の診療には、他臓器にはない患者さんとの関わり方があります。

特に乳癌診療にあっては、診断、手術、薬物療法、緩和治療全ての診療の中心に乳腺外科医が必要とされます。そのためには、画像診断、病理組織診断、遺伝子診断の知識、インターベンションの技術から、外科的治療の技術、形成外科的手技と知識、薬物療法の幅広い知識と経験、緩和治療に向けての他職種、院内外スタッフとのチーム医療の実践等、あらゆる面での知識と経験、実行力が必要とされます。乳腺という単一臓器の疾患を通じて、医師としての総合力を磨くことができ、さまざまな場面で患者さんと深く関わることで、医師として人として成長することができます。

ぜひ、多くの学生さんが実習を通じて、乳腺科の魅力に気づかれることを期待しています。